

様式 C-19

科学研究費補助金研究成果報告書

平成22年5月10日現在

研究種目：基盤研究（B）
研究期間：2006～2009
課題番号：18330123
研究課題名（和文） 岡山孤児院におけるネットワーク形成と自立支援に関する総合的研究
研究課題名（英文） A study on support network in the Okayama Orphanage
研究代表者
細井 勇（HOSOI ISAMU）
福岡県立大学・人間社会学部・教授
研究者番号：70190204

研究成果の概要（和文）：これまでの石井十次資料館所蔵資料の調査・整理の成果として、「図書部」と「写真部」の目録を刊行できた。さらに『岡山孤児院関係資料集成』全3巻（1,200頁）を刊行できた。また、これまでの研究の集大成として細井勇著『石井十次と岡山孤児院—近代日本と慈善事業—』（531頁）を上梓した。共同研究の成果は、毎年『石井十次資料館研究紀要』第7～10号に発表、最終年には研究成果報告書『岡山孤児院におけるネットワーク形成と自立支援に関する総合的研究』（339頁）を纏めた。

研究成果の概要（英文）：The table of "Part of books" and "Part of photographs" was able to be published as a result of the current investigation and arrangement of the Ishii Juji material pavilion. In addition, "Collection of material related to the Okayama orphanage" three all volumes were able to be published. Moreover, written by Hosoi Isamu as results of all the studies so far, "Ishii Juji and Okayama orphanage - Modern Japan and philanthropy -" was published. The result of a joint research was announced to "Ishii Juji material pavilion research bulletin" in No. 7-10 every year. In the final year, the research result report "A study on support network in Okayama Orphanage" was settled

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	2,800,000	840,000	3,640,000
2007年度	2,600,000	780,000	3,380,000
2008年度	2,900,000	870,000	3,770,000
2009年度	3,900,000	1,170,000	5,070,000
年度			
総計	12,200,000	3,660,000	15,860,000

研究分野：社会福祉

科研費の分科・細目：社会学・社会福祉

キーワード：社会福祉、慈善事業、岡山孤児院、石井十次

1. 研究開始当初の背景

石井十次によって 1887 年創設された岡山孤児院は近代日本を代表する慈善事業である。本共同研究の前提には科研費研究「石井十次と岡山孤児院に関する基礎的研究」(2001 年～2004 年)がある。この共同研究の目的は石井十次資料館(宮崎県児湯郡木城町)に所蔵された史資料の調査、整理から資料目録を作成しつつ、基礎研究を進めることであった。共同による現地調査により資料目録としては、「簿冊文書の部」「手紙文書の部」を刊行することができた。しかしながら、本資料館の所蔵資料の整理目録化は、写真資料や書籍資料について未着手で課題として残された。また、本基礎研究を土台にさらに研究内容を発展させていく必要があった。

2. 研究の目的

本共同研究の第一の目的は、これまで積み上げてきた石井十次資料館所蔵資料の調査整理そしてその目録化等の共同作業を継続し、「写真の部」と「図書の部」の目録化を少なくとも達成することである。第2に、これと並行し、また、これまでの基礎研究を土台として、新たに関係支援者の「ネットワーク」や院児の「自立支援」という観点から、より多角的、複合的、総合的に研究を進展させることである。より具体的には、石井十次を支えた関係者、岡山孤児院12則の形成と内容分析、里預け制の実態の解明、石井十次と朝鮮半島との関係、石井と増野悦興との関係、岡山孤児院事業のバーナードホームとの関係、感化教育との関係、関係書簡、関係日誌の分析検討、岡山孤児院事業の他の施設への影響等である。

3. 研究の方法

毎年、夏に石井十次資料館のある宮崎県児湯郡木城町の石井記念友愛社において1週間程度、資料目録作成を目的に、共同での資料調査整理作業を実施した。同時にこの機会を活用して、研究報告会を高鍋の公民館等を会場に開催した。

その他、連携研究者は、各自の関心領域に沿って、現地資料収集等を行うことにした。

研究成果の発表の場として、関係学会への報告のみではなく、高鍋では毎年夏、石井十次セミナーを開催、研究報告を行った。さらに、岡山でもシンポジウムを開催した。また、石井記念友愛社が毎年発行する『石井十次資

料館研究紀要』に随時、論文、岡山孤児院日誌、資料紹介等を掲載発表した。

石井十次資料館所蔵資料の調査整理作業の成果として、「写真の部」と「図書の部」を編集刊行した。これまでの資料目録を併せ、資料館所蔵の一次史資料を活用しての実証的研究を進めた。なお、貴重な石井十次日誌原本の傷みがあるので保存方法について検討した。

4. 研究成果

(1) 石井十次資料館所蔵資料の共同の調査整理作業は予定通り進み、完成年度である2009年には、計画通り以下の「写真の部」と「図書の部」の目録を解説付きで編集刊行することができた。

『石井十次資料館蒐・所蔵仮目録 図書の部』石井十次研究会、2009年

『石井十次資料館蒐・所蔵仮目録 写真の部』石井十次研究会、2009年

(2) 細井勇・菊池義昭編・解説で『岡山孤児院関係資料集成』全3巻(総1,200頁)を2009年不二出版から刊行できた。このことは石井十次および岡山孤児院事業に関する一次史資料を公開することの実現であり、社会事業史研究のみならず、教育史等ひろく日本の近代史研究に貢献することになる。

(3) 研究代表者である細井勇は2009年、これまでの関連研究の集大成として『石井十次と岡山孤児院—日本近代と慈善事業—』(ミネルヴァ書房、531頁)を上梓することができた。日本社会福祉学会、日本基督教社会福祉学会、同志社社会福祉学会等の学会誌で書評を受け、高い評価を受けている。石井十次についての初めて本格的で体系的な研究書と言えよう。

(4) この他、本共同研究の目的と合致して、連携研究者による関連研究が大きく深まり発展した。菊池義昭は岡山孤児院12則と里預け制についての実証研究を深めた。安東邦昭は石井と朝鮮半島との関係という未開拓の分野を切り開いた。滝沢民夫は石井との親交の深かった増野悦興の研究を展開した。これも従来未開拓の分野であった。細井勇は改めて郷里高鍋の石井の支援者について解明を進めた。杉山博昭は山口の児童保護事業に

岡山孤児院事業が深い影響を与えたことを明らかにした。岡山孤児院事業の他施設への影響力は非常に大きいが実証的な検証は初めてである。高松誠・三上邦彦は岡山孤児院事業へのバーナードホームの影響を考察した。

以上、研究成果は毎年発行される『石井十次資料館研究紀要』に随時発表し、完成年度には科研費研究成果報告書『岡山孤児院におけるネットワーク形成と自立支援に関する総合的研究』（2010年3月、339頁）に纏めた。これらには岡山孤児院日誌や関係者の日記等の資料紹介を行っており、今後の関連研究の発展に寄与する基礎資料の提供の役割を果たせたと考える。以下は、科研費研究成果報告書に掲載された論説である。

安東邦昭「日韓関係史における石井十次と岡山孤児院」

菊池義昭「1914年から1916年の岡山孤児院の里預制の展開—127事例の全体像と里預制の数量的な内容を中心に—」

菊池義昭「1914年から1916年の岡山孤児院の里預制の地域分布と専門化の動向」

滝沢民夫「石井十次と増野悦興—出会い・分かれからバーナードの紹介まで—」

藤原正範「岡山孤児院における感化事業とその位置付け」

高松誠・三上邦彦「岡山孤児院における家族制度導入の背景—バーナードホームの影響から—」

杉山博昭「山口県慈善事業への岡山孤児院の影響」

小野修三「今ここで何か求められているか—一百年前的大阪・東京・茶臼原の岡山孤児院事務所の日記を通じて—」

池本美和子「二つの組織化—慈善事業と地方改良—」

元村智明「続『石井十次資料館蒐・蔵書仮目録』分析ノート—「写真の部」と「図書」を中心に—」

(5)なお、研究成果は毎年宮崎県高鍋町で開催される石井十次セミナー（約200名参加）で研究報告し、また、岡山市においても児童福祉関係者（約100名）を対象にシンポジウムを開催した。内容は以下の通り。

（石井十次セミナー）

第12回石井十次セミナー（2009.8.30）

菊池義昭「茶臼原農村の建設と農場学校の役割」

第11回石井十次セミナー（2008.8.31）

小野修三「今ここで求められているもの—一百年前的大阪・東京・茶臼原の岡山孤児院事務所日誌を通じて—」

第10回石井十次セミナー（2007.9.2）

細井勇「石井十次をささえた人々—徳富蘇峰と高鍋の若者たち—」

第9回石井十次セミナー（2006.8.27）

三上邦彦・元村智明「写・映像でつづる岡山孤児院」

（岡山でのシンポジウム）

石井十次に関するシンポジウム（2008.10.11、於岡山成徳学校）

司会 藤原正範 シンポジスト 細井勇、菊池義昭他

(6)残された課題は以下の通りである。第1に、本研究において最も重要な史料である石井十次日誌原本の保存計画であるが、設備に高額な費用がかかり、費用捻出が困難なことから断念した。第2に、石井十次資料館所蔵資料の整理作業は、一枚物文書等の整理目録化の作業がなお残ったままであること。第3に、本共同研究によって、岡山孤児院事業の国際性に着目した研究を植民地社会事業史研究の一環としてさらに進展させる必要があると感じたことである。第4に、実践内容の質的分析をバーナードホーム等との国際比較を通じてさらに深めていく必要を感じたことである。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計25件）

- ① 菊池義昭「1914年から1916年の岡山孤児院の里預制の地域分布と専門化の動向」『ライフデザイン学研究』5号、査読有、2010年、75-108
- ② 安東邦昭「石井十次と朝鮮半島—釜山慈善会とその担い手たち—」『石井十次資料館研究紀要』10号、査読無、2009年、1-28
- ③ 菊池義昭・若林義輝「設立前後の財団法人石井記念愛染園の財政内容とセツルメント実践の概要」『石井十次資料館研究紀要』10号、査読無、2009年、29-84
- ④ 室田保夫「近代日本の社会事業雑誌：岡山孤児院の機関誌『岡山孤児院新報』」『キリスト教社会問題研究』57号、査読有、2008年、1-37
- ⑤ 細井勇「石井十次を支えた人々—高鍋の同行者達—」『石井十次資料館研究紀要』9号、査読無、2008年、3-20
- ⑥ 滝沢民夫「石井十次と増野悦興」『石井十次資料館研究紀要』9号、査読無、2008年、21-50
- ⑦ 菊池義昭・田谷幸子「岡山孤児院の里預制と安定期の運用内容」『石井十次資料館研究紀要』9号、査読無、2008年、51-82
- ⑧ 小野修三「石井十次の移民事業—明治41年から42年の茶臼原孤児院日誌—」

- 『慶應義塾大学日吉紀要 社会科学』18号、査読有、2008年、1-79
- ⑨ 小野修三「岡山孤児院の東京運動—東京事務所日誌 明治四十年一月以后十二月」『慶應義塾大学日吉紀要 社会科学』17号、査読有、2007年、1-46
- ⑩ 関儀久「晩翠学舎の研究」『石井十次資料館研究紀要』8号、査読無、2007年、4-25
- ⑪ 菊池義昭・田谷幸子「岡山孤児院の里預制の成立と急増急減期の内容」『石井十次資料館研究紀要』8号、査読無、2007年、26-55
- ⑫ 細井勇「近世の公的救済と近代的慈善事業の特質について」『キリスト教社会問題研究』55号、査読有、2006年、121-156
- ⑬ 菊池義昭「『岡山孤児院新報』に見る「岡山孤児院十二則」の形成過程の展開」『石井十次資料館研究紀要』7号、査読無、2006年、4-37

〔学会発表〕(計11件)

- ① 高松誠・三上邦彦「明治30年代後半の岡山孤児院養護実践—英国バーナードホームの影響から—」社会事業史学会、2009年5月9日、東洋大学
- ② 田谷幸子・菊池義昭「岡山孤児院の里預制における里預児の数量的実態の分析—里預制と里親の全数調査から見えてくる養護実践の動向—」社会事業史学会、2009年5月9日、東洋大学
- ③ 菊池義昭「岡山孤児院の里預制について—安定期の運用内容—」日本社会福祉学会、2008年10月12日、岡山県立大学
- ④ 細井勇「社会福祉の研究方法を問う」日本社会福祉学会九州部会、2007年12月8日、大分大学
- ⑤ 細井勇「社会事業史の方法上の課題について」日本社会福祉学会、2007年9月22日、大阪市立大学
- ⑥ 細井勇「棄児養育米制度と慈善事業の関係について」日本キリスト教社会福祉学会、2007年6月22日、西南学院大学
- ⑦ 細井勇「石井十次の思想形成について—石井十次日誌原本を通じて—」日本社会福祉学会、2006年10月7日、立教大学
- ⑧ 細井勇「事例検討を通じた岡山孤児院史研究の試み」社会事業史学会、2006年5月13日、龍谷短期大学

〔図書〕(計7件)

- ① 元村智明編『日本の社会事業—社会と共同性をめぐって—』社会福祉形成史研究会、2010年、303頁
- ② 室田保夫編『人物でよむ社会福祉の思想と理論』ミネルヴァ書房、2010年、262頁
- ③ 細井勇・菊池義昭編・解説『岡山孤児院

関係資料集成』全3巻、2009年、総1,200頁

- ④ 細井勇『石井十次と岡山孤児院—近代日本と慈善事業—』ミネルヴァ書房、2009年、531頁
- ⑤ 菊池正治、細井勇、柿本誠編『児童福祉論—新しい動向と基本的視点—』ミネルヴァ書房、2007年、245頁
- ⑥ 室田保夫編著『人物でよむ近代日本社会福祉の歩み』ミネルヴァ書房、2006年、260頁
- ⑦ 池本美和子編『近代日本の慈善事業—実態とその変容—』社会福祉形成史研究会、2006年、331頁

6. 研究組織

(1) 研究代表者

細井 勇 (HOSOI ISAMU)
福岡県立大学・人間社会学部・教授
研究者番号：70190204

(2) 連携研究者

安形 静男 (ANGATA SHIZUO)
宮崎産業経営大学・法学部・教授
研究者番号：30369160

藤原 正範 (FUGIWARA MASANORI)
鈴鹿医療科学大学・保健衛生学部・助教授
研究者番号：90410935

池田 敬正 (IKEDA YOSIMASA)
四天王寺国際仏教大学・人文社会学部・教授
研究者番号：00071209

池本 美和子 (IKEMOTO MIWAKO)
佛教大学・社会福祉学部・教授
研究者番号：90308932

菊池 義昭 (KIKUCHI YOSIAKI)
東洋大学・ライフデザイン学部・教授
研究者番号：50258927

三上 邦彦 (MIKAMI KUNIHICO)
岩手県立大学・社会福祉学部・教授
研究者番号：20381311

元村 智明 (MOTOMURA TOMOAKI)
金城大学・社会福祉学部・講師
研究者番号：60340022

小野 修三 (ONO SYUZO)
慶應義塾大学・商学部・教授
研究者番号：90103902

佐藤 繁美 (SATOU SIGEMI)
福岡県立大学・人間社会学部・助手
研究者番号：80254647

杉山 博昭 (SUGIYAMA HIROAKI)
ノートルダム清心女子大学・人間生活学
部・准教授
研究者番号：20270035